

## 目的 計画 目標 (P)

平成27年度に策定した葛城市生活交通ネットワーク実施計画において、市の公共交通の現状や住民ニーズを把握し、葛城市に適した生活交通ネットワークの再編に取り組んでいる。

平成28年11月3日より『ぐるっとかつらぎ』と称し、幹線道路を運行するルートを環状線ルート、その支線を運行するルートをミニバスルートとして再編し、現在に至っている。

前年度の利用者数は、約90.7人/日であり、利便性の向上と利用促進を推進することにより、利用者数の増加を図り、100人/日を目標とした。

## 概要図・参考資料

人口:37,333人(平成30年4月1日現在)

面積:33.72平方キロメートル

合併状況:平成16年10月1日

高齢化率:26.97%(平成30年4月1日現在の65歳以上人口の比率)

系統数:4

運行回数:外回り・内回り各5便

参考資料:葛城市コミュニティバス時刻表(別添)



協議会等開催状況(平成29・30年度)

- 第14回協議会(平成29年5月22日開催)  
地域内フィーダー系統確保維持計画について
- 第15回協議会(平成29年10月5日開催)  
運行状況について
- 第16回協議会(平成30年3月28日開催)  
運行の改変について
- 第17回協議会(平成30年6月11日開催)  
地域内フィーダー系統確保維持計画について
- 第18回協議会(平成30年8月23日開催)  
公共交通に関するアンケート調査について

## 具体的取り組み (D)

- ①平成29年4月からバス現在地情報システム(バスロケーションシステム)を導入し、利便性の向上を図っている。
- ②平成29年8月から検索サイト「ジョルダン」「ナビタイム」に時刻表の掲示を行っている。
- ③市内飲食店等や當麻寺等とタイアップし、「ぐるっとかつらぎ」協力企業を募り、利用促進を図った。

## 取組みに対する評価 (C)

「具体的な取組」の実施を通じて、環状線ルートにおける1日当たりの目標利用者数を100人と設定したが、当該年度内における1日当たりの利用者数は87.2人という結果となり、目標値を達成できなかった。

## 自己評価から得られた課題、対応 (A)

今後も利便性の向上と利用促進を図ることにより、利用者のさらなる増加を目指すとともに、平成30年9月に実施した「葛城市公共交通に関するアンケート調査」の結果を基として、平成31年度中での全面的なルートの見直しを行い、地域のための公共交通として、安定して継続し続けられるよう努める。

## アピールポイント、特に工夫した点など

バス現在地情報システム(バスロケーションシステム)や時刻表等の検索サイトである「ジョルダン」「ナビタイム」など、インターネットを通じたサービスを継続し、市の広報誌やホームページ等での周知を重ねた。